

Alfredo Moreno Charme アルフレド・モレノ・チャルメ  
チリ外務大臣



2010年3月11日、外務大臣に就任。

アルフレド・モレノ大臣は、サン・イグナシオ・エル・ボスケ中等教育学校を最優秀成績者として修了した後、チリカトリック大学を生産工学・土木工学士として最高栄誉賞を得て卒業した。その後、米国シカゴ大学のMBAを取得し、数々の優秀賞を受賞した。

チリ国内外において卓越した活動を展開してきた。米国の最も優れた国際関係誌であるForeign Policy誌が選ぶラテンアメリカの50名の指導者のグループ、G-50の一人である。また、ブラジルのドン・カブラル財団国際審議会やシカゴ大学大学院ビジネス・スクールのグローバル・アドバイザー・ボード等のメンバーでもある。これらの要職を通じて官民両分野において国際的にも幅広い人脈を培ってきた。

企業の役員としても長い経験を持つ。チリの優良企業を振興するNPO、ICAREの会長であった。

公的サービスに関連する諸機関で重要な役割を果たしてきており、チリ・テレトン基金の会長、国際テレトン機構の副会長、市民平和財団の理事等の役職に就いている。

アルフレド・モレノ大臣はサンティアゴに生まれ、現在53歳。既婚で4人の子を持つ。